

共同  
企画

第2回

# 帝京地域 包括ケア懇話会

第23回

# 帝京がんセミナー

住み慣れた地域で  
がん患者さんを支えるチームづくり



## プログラム

### 開会あいさつ

帝京大学医学部附属病院  
病院長 **坂本哲也**

## 第1部 導入と事例提示

○地域でがん患者さんを支えるには  
住み慣れた地域で暮らすためのチームづくり  
帝京大学医学部附属病院 腫瘍内科 准教授 **渡邊清高**

○患者さんの生活を支える支援の実際  
帝京大学医学部附属病院 医療福祉相談室 課長補佐 **宮本博司**

○事例提示  
帝京大学医学部附属病院 腫瘍内科 医師 **春山輝亘**

○グループワークのオリエンテーション

## 第2部 グループワーク

住み慣れた地域でがん患者さんを支える  
(参加者全員でグループに分かれてディスカッションを行います)  
モデレーター **渡邊清高・村上文**(帝京大学法学部法律学科 教授)

### まとめ・閉会あいさつ

帝京大学医学部附属病院  
医療連携・相談部長 **佐野圭二**

## 意見交換会

## 日時

2019年**11月28日**(木)  
18:00~20:45(開場17:30)

## 会場

帝京大学板橋キャンパス  
大学棟本館 2階 207講義室  
〒173-8606 板橋区加賀2-11-1

## 対象

医療・介護・福祉・行政従事者、  
患者さんの療養支援に  
関わっている方

## 参加費

**無料**

## 参加方法

**事前申し込みが必要**  
FAXにてお申し込みください。

## 定員

**150名**  
定員超過の場合、お申し込みを  
お断りすることがあります

## お問い合わせ

帝京大学医学部附属病院  
医療連携室  
〒173-8606 東京都板橋区加賀2-11-1  
**TEL 03-3964-9830**  
(土日祝日を除く10~16時)



# 第2回帝京地域包括ケア懇話会 第23回帝京がんセミナー

## 住み慣れた地域でがん患者さんを支えるチームづくり

医療の進歩により、病を患った方がこれまでの生活を続けながら住み慣れた家で暮らしたり、地域で過ごすことができるようになってきました。希望に沿った療養を実現できる地域づくりのためには、医療に加えて、介護・福祉・行政をはじめとする幅広い関連職種が連携して、患者さんやご家族の思いを大切にしながら協働していくことが重要です。がん・非がん疾患に関わらず、患者さんの「よりよく生きる：サバイバーシップを支える」仕組みをどのようにつくっていくかが鍵になります。

東京都西北医療圏の在宅療養を支える専門職、教育研修に関わる職種をはじめとするさまざまな関係者が一堂に会し、患者さんご家族の社会生活を支える視点で、地域包括ケアの実践に向けて話し合います。ぜひご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

### 参加申し込み用紙 **FAX 03-3964-9849**

参加ご希望の方はこちらの用紙に必要事項をご記入の上FAXにてお申し込みください。

ご施設名	
地区	板橋区・北区・練馬区・豊島区・埼玉・その他( )
職種	医師・薬剤師・看護師・主任ケアマネジャー・ケアマネジャー MSW・CW・他( )
お名前	
連絡先 (電話番号 or E-mail)	
ご施設名	
地区	板橋区・北区・練馬区・豊島区・埼玉・その他( )
職種	医師・薬剤師・看護師・主任ケアマネジャー・ケアマネジャー MSW・CW・他( )
お名前	
連絡先 (電話番号 or E-mail)	

\*大変お手数ですが、**11月18日(月)まで**にお申し込みいただきますようお願い申し上げます。



ご来場には公共交通機関をご利用ください。

**連絡先**  
 帝京大学医学部附属病院  
 医療連携室  
 TEL 03-3964-9830  
 FAX 03-3964-9849

上の地図は略図のため、実際の地形とは異なりますのでご注意ください。